

企業の「稼ぐ力」を掘り起こし、将来の展望を描けるよう支援します

(仮称)狭山市ビジネスサポートセンター事業(1千492万8千円)



中小企業や創業希望者などの販路や新分野の開拓、新製品の開発などを継続的に支援するため、専門相談員による伴走型のビジネスコンサルティング事業の平成31年4月の実施に向け、準備を進めます。

狭山工業団地拡張地区基盤整備事業 組合施行(業務代行方式)

圏央道狭山日高インターチェンジ周辺の立地特性を生かした新たな工業・流通拠点の形成を図るため、狭山工業団地に隣接する2地区について、土地区画整理事業や地区計画などによる基盤整備を推進します。今年度は、都市計画の変更手続きに着手し、都市計画の決定を目指します。

都市基盤の整備を進め、安全で利便性の高いまちづくりを進めます

入曽駅周辺整備事業(3千500万円)

土地区画整理事業の事業認可に向けた基本設計や民間施設誘致の準備に取組み、一日も早い着工を目指します。



[イメージ図]

狭山市駅加佐志線整備事業 (1億9千764万円)

狭山市駅東口土地区画整理事業区域境から東京狭山線までの区間の整備に向け、用地取得を進めます。

笹井柏原線整備事業(4千357万6千円)

国道407号から上広瀬土地区画整理事業区域境までの延長590メートル区間の整備に向け、用地取得に着手します。

テーマ2 まちと産業に 活力を

快適な都市空間を構築し、産業を活性化し、活気のあるまちづくりを進めます。

特産である「狭山茶」のブランド力の一層の向上を図ります

狭山茶消費拡大振興事業(430万4千円)



また、県内11市町と連携し、「日本農業遺産」の認定に向けた準備を進めます。

茶樹の優良品種への改植を促進するとともに、お茶を飲む習慣の定着化と狭山茶のブランド化を推進して、消費拡大を図ります。

新たな観光拠点を整備し、交流人口の増加を図ります

入間川とことん活用プロジェクト事業 (1千380万円)

活用エリアのインフラ整備を進めるとともに、民間活力の導入を図るため、事業者の選定を進めます。また、河川敷を活用した、さまざまなイベントを実施します。



[イメージ図]

4ページ～7ページは、第4次狭山市総合計画に掲げる4つの重点テーマに沿って、平成30年度に行う主な事業を紹介します。

若い世代や子育て世代などの定住を促進します

親元同居・近居支援事業(1千800万円)

市内にお住まいの「親世帯」と同居または近くに住むために、市外から転入する「子世帯」に対して、住宅の新築や取得、増改築などに係る費用の一部を補助します。併せて、市内での転居や市内に親世帯のいない若い世代の定住を促進するため、金融機関と連携し、金利を優遇する「提携住宅ローン」を実施します。



子育て環境の魅力を発信(291万8千円)

子育て世代の転入促進に向けて、子育て中のママの目線に立った、子育てに関する情報満載のリーフレットを作成し、本市の子育て環境の魅力を広く発信します。

安心して妊娠、出産、子育てができる環境を充実します

母子保健型利用者支援事業

(1千476万8千円)



妊娠届け出時に保健師が面談し、妊娠や出産などの悩みにきめ細かく対応するため、面談窓口を市役所1階総合窓口にも開設します。

公立保育所の保育時間延長(199万1千円)

保護者の就労時間に合わせた保育ニーズに対応するため、新狭山保育所の土曜日の保育時間を、18時までに延長します。



民間保育所等施設整備補助事業(1億950万円)

待機児童の解消に向け、民間法人による定員90名の認可保育所の整備を促進します。

テーマ1 若い世代を 増やす

少子化と人口減少の進行を抑制し、持続可能なまちづくりを進めます。

基礎学力の向上と教育環境を充実し、学力日本一を目指します

さやまっ子・茶^{チャ}レンジスクール事業

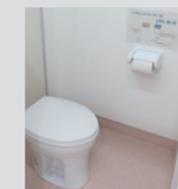
(916万4千円)



中学生のために学校の授業以外で学習できる機会を設け、基礎学力の定着と家庭学習の習慣化を支援します。

小学校校舎トイレの洋式化

(1億5千524万円)



学校における快適な環境を確保するため、校舎トイレ(縦1系統)の洋式化を計画的に実施します。今年度は4校で工事を実施し、今後3年間で全ての小学校で完了します。

生活困窮世帯^{こんきゅう}の子ども達への学習支援事業(695万4千円)

生活困窮世帯の子ども達への学習支援の対象を、現在の中学生・高校生から小学生までに拡大し、学童期からの継続した学習環境確保のサポートや、家庭訪問などを通じての保護者への助言など、家庭の状況に応じた支援を行います。